

第 43 回内閣府独立行政法人評価等のための有識者懇談会議事要旨（案）

大臣官房政策評価広報課

1. 日 時：令和 8 年 1 月 9 日（金）13：57～15：40

2. 場 所：中央合同庁舎第 8 号館 8 階特別中会議室

3. 出席委員：牧原座長、梅澤委員、田辺委員、千葉委員、山内委員

4. 議事概要

（１）（独）国立公文書館の令和 8 年度年度目標（案）について

公文書管理課より、資料 1－2 を中心に説明がなされた後、委員からの主な意見等は以下のとおり。（委員からの修正意見なし）

- ・職員はどのような職種の人が増加したのか。また新館の開館準備の進捗について説明いただきたい。
- ・AI の活用についてなにか検討しているところがあれば説明いただきたい。
- ・1 年以内の排架達成率の目標の難易度について実態を説明いただきたい。また、人的資本の強化等の項目について具体的に説明いただきたい。
- ・昭和 100 年記念特別展示会の入場者数目標を前年度と同じとしている点についてお答えいただきたい。
- ・中高生を対象とした出前授業及び体験学習受入れについては、東京圏に偏らない方法で検討いただきたいが、実状はどのようなになっているのか。

（２）（独）男女共同参画機構の第 1 期中期目標（案）について

男女共同参画局より、資料 2－2 を中心に説明がなされた後、委員からの主な意見等は以下のとおり。（委員からの修正意見なし）

- ・地方のセンターとの連携にあたっては、定期的なヒアリングなどにより現場の意見を吸い上げていただいて、随時調整しながら活動していただきたい。
- ・最終的に目指しているアウトカムが男女共同参画の推進なのだとしたら、機構の活動とアウトカムの間の距離は大変遠いように思う。この機構が本当にアウトカムにつながる何かができるとしたら、一番効果的なのはエビデンスセンターとしての役割を担うことではないか。
- ・地域の男女共同参画センターが実際に行っている取組の効果に関する調査研究をする計画はあるか。
- ・前身の（独）国立女性教育会館の評価では評価指標についてどのような議論がされていたのか補足いただきたい。
- ・（独）国立女性教育会館の図書館機能はどのように維持されるのか。

- ・ 職員数、予算額、企業や民間との連携のあり方について補足説明いただきたい。
- ・ 予算のうちどの事業に一番予算が組まれているのか。

(3) 事務局から、今後の予定について説明を行った。

(以 上)

(問合せ先)

内閣府大臣官房政策評価広報課 独立行政法人担当

電話：03－6257－1295